

在関西政府機関と関西広域連合構成府県市の連携について

政府機関等との地方創生推進会議の第1回において、文化庁地域文化創生本部、消費者庁消費者行政新未来創造オフィス、総務省統計局統計データ利活用センターそれぞれの取組や自治体との連携・協力について提案をいただき、意見交換を行った。

関西広域連合地方分権課では、上記連携・協力の提案を具体的な取組につなげるため、第1回会議開催後、構成府県市を対象として、対応する事業等の有無についてアンケートを実施し、主な回答を以下のとおりまとめた。

一 文化庁 地域文化創生本部

1 関西域内での文化庁の知名度向上（説明や挨拶等への招聘）

連携・協力項目	招聘等を希望する具体的な内容（会議名、時期等）
シンポジウムや文化イベントでの挨拶・登壇	【兵庫県】 ・丹波篠山市篠山・福住伝建地区で実施される伝建協総会（令和2年5月下旬予定） ・ブロック別民俗芸能大会
審議会等での挨拶・説明	【徳島県】 ・徳島県文化創造審議会（時期未定）
市町村等を集めた会議での挨拶・説明	【兵庫県】 ・兵庫県文化財主幹課連絡会議（毎年5月下旬） ・埋蔵文化財調査成果連絡会（毎年11～12月頃）
	【徳島県】 ・市町村文化行政担当主管課長会議（令和2年6月予定）
※すでに連携済みの取組	【和歌山県】 ・令和元年6月3日開催の国民文化祭市町村担当課長会議に地域文化創生本部事務局長を招聘 【鳥取県】 ・令和元年8月6日開催の令和元年度鳥取県文化行政担当者説明会に地域文化創生本部本田上席調査役を招聘

2 地域の実情の紹介（地域の視察等）

連携・協力項目	招聘等を希望する具体的な内容（イベント名、時期等）
文化と観光・経済のコラボなど先進的な取組の視察	<p>【兵庫県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大中遺跡まつり（毎年 11 月） ・ ミュージアムフェア（毎年 2 月頃） <p>【大阪府】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント名 : 大阪府障がい者舞台芸術オープンカレッジ 2019 時期 : 2019 年 12 月予定 概要 : 国内外を問わず、障がいのある方もない方も、共に助け合い、共に楽しめる仲間とともに、第一線で活躍するアーティストを講師に迎え、身体と心の記憶に残る舞台発表を実施する。 ・ イベント名 : アート企画展「about me」 時期 : 2020 年 2 月予定 概要 : 障がいのある表現者のそばにいる人たちが心震えるものを選びすぐり、作品とその背景にあるものを展示する。 ・ イベント名 : カペイシャス グループ展 時期 : 2019 年 9～10 月予定 概要 : 大阪府内の障がいのあるアーティストの作品を、現代美術のマーケットに紹介し、アーティストとしての活躍を支援するプロジェクト、「capacious（カペイシャス）」のグループ展覧会を実施する。 <p>【鳥取県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北栄町北栄みらい伝承館で、特産のワインに関しその歴史やワインづくりに使われた道具などを紹介する展示・関連イベントを 11 月に実施
関西らしい文化の取組の視察	<p>【神戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸新開地・喜楽館（2018 年開館。関西で 2 番目にできた上方落語の定席）
その他の視察	<p>【堺市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年 9 月 26 日（木）堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）開館記念式典（※来賓出席依頼を予定） <p>【神戸市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アート・プロジェクト KOBE : TRANS-（2019 年 9 月 14 日～11 月 10 日に開催する芸術祭。10 月 4・5・6 日にはやなぎみわ演出で舞台公演が行われる） ・ 第 10 回神戸国際フルーツコンクール及び神戸国際フルーツ音楽祭関係事業（音楽祭事業を毎年実施。2019 年度は 9～11 月に開催。フルーツコンクールは 4 年に 1 度の開催。次回開催は 2021 年。）

3 上記以外での連携・協力の可能性

【兵庫県】

- ・日本遺産をはじめとした地域資源同士に繋がりをもたせて、広域で魅力を活用していくための「地域遺産活用ワークショップ」を担当課で企画中であり、今後、文化庁との連携を依頼する可能性あり（時期等も含めて、現時点では詳細未定。）

4 自治体（管内市町村含む）の文化行政に関する先進的な取組

【堺市】

- ・平成 30 年 10 月 1 日に茶の湯まちづくり条例を制定し、市民が参加できる茶会を開催するなど、茶の湯文化の振興を推進。

5 その他

個々には掲載していないものの、京都府・京都市は従前より地域文化創生本部と連携して様々な取組を行っている。

二 消費者庁 消費者行政新未来創造オフィス

1 見守りネットワークの構築（兵庫県は県内全市町で設置済）

連携・協力項目	招聘・相談等を希望する具体的内容（会議名、時期等）
会議等での消費者庁からの説明（招聘）	【大阪府】 ・時期等具体的な内容は未定。状況に応じて別途調整
	【奈良県】 ・市町村担当課長会議において、ネットワーク構築の意義等についての説明（市町村消費者行政担当課長会議、令和元年9～10月を予定）
	【和歌山県】 ・市町村向け説明会での概要説明や協議会立ち上げのノウハウ等の紹介
	【鳥取県】 ・鳥取県消費者見守りネットワーク協議会 時期 R元年12月頃（内容） 見守りネットワークに係る先進地の取組
研修・セミナーの講師等として招聘	【大阪府】 ・9月20日 市町村消費者行政職員等研修会（第2回）（調整済）
	【奈良県】 ・教員向け消費者教育研修に対する講師派遣（令和2年度）

2 消費者志向経営

連携・協力項目	招聘等を希望する具体的な内容（イベント名、時期等）
研修・セミナーの講師等として招聘	【大阪府】 ・より広域な事業者を対象に取組むことが効果的であるため、消費者庁と各府県が共催で事業者向けセミナーを実施することを希望。
	【鳥取県】 ・とっとり消費者大学公開講座における県民・企業向け講座（時期 R元年10月～11月頃、R2年1月～3月頃）

3 その他の全国展開に向けた連携・協力

連携・協力項目	
エシカル消費の普及	【大阪府】 ・現在具体的な予定はないが、消費者庁と共催の消費者教育フォーラムやエシカル・ラボ等、啓発イベント実施時における連携を希望
	【兵庫県】 ・共催イベント開催予定（令和元年9月29日エシカル・ラボ in ひょうご） ・広報周知
	【奈良県】 ・エシカル消費についてのシンポジウム開催にあたり、講師派遣及び共催を希望（時期未定）

食品ロスの削減	【大阪府】 ・食品ロス削減推進計画策定に係るアドバイス、シンポジウムやイベント等における協力、家庭の実態調査結果の活用等
	【兵庫県】 ・広報周知
子どもの事故防止	【兵庫県】 ・広報周知
栄養成分表示等の活用に向けた消費者教育	【兵庫県】 ・広報周知
公益通報社保護制度の推進	【兵庫県】 ・広報周知
食品に関するリスクコミュニケーション	【兵庫県】 ・広報周知
	【奈良県】 ・リスクコミュニケーションにおいて、消費者庁からの講師やパネリストの派遣（時期未定）
シェアリングエコノミーに関する実証実験	【兵庫県】 ・広報周知

4 上記以外で連携・協力の希望

<p>【大阪府】</p> <p>・一人体制等で研修参加が困難な相談員向けのオンデマンド研修や研修ビデオの配布・貸与等</p>
--

三 総務省統計局 統計データ利活用センター

1 講習会・研修会（講師としての招聘や企画の相談など）

連携・協力項目	招聘等を希望する具体的な内容（会議名、時期等）
研修会	【滋賀県】 ・EBPMについての説明や自治体におけるデータ利活用例の紹介についての講演。（詳細未定）
	【奈良県】 ・県、市町村職員向け統計研修の内容、講師についての情報提供、相談（令和2年度以降分、本年度は、内容等決定済）
	【京都市】 ・データサイエンス・統計リテラシー研修（例年1月ごろに本市職員向けに実施） ※昨年度（平成31年1月11日実施）の本研修に、データ利活用センター長に講師として講演いただいた。
	【大阪市】 ・本市職員向けの時間外自己啓発研修 内容：統計データを正しく読み、それらを用いて政策を考える。また、収集して実態を把握するための基本・基礎にかかる研修 時期：今年度12月～1月ごろ ・庁内研修講師（受講対象者はマネジメント層を想定）、ただし実施時期等は未定。
	【堺市】 ・本市職員の統計利活用スキルをアップするために研修会等についての相談

2 行政課題解決やデータ利活用事例に関する指導・助言等

※詳細が未定のものなど、連携・協力できる内容かどうかの相談が必要なものも含まれる

連携・協力項目	招聘等を希望する具体的な内容（イベント名、日程等）
データを用いた行政課題の解決のための相談	【大阪市】 ・データ分析を試行する原課（データ提供課）との打合せに対するスーパーバイズ
データ利活用の共同研究や助言等の相談	【滋賀県】 ・県および国が保有する滋賀県に関するデータの集約化について（滋賀県版 e-Stat の構築について）（詳細未定）
その他の相談	【滋賀県】 ・小・中学校で実施している統計出前授業で使用するテキスト作りのアドバイス ・小学生が統計の重要性を理解してもらうための、身近でわかりやすい統計の活用事例の紹介 ・「キッズすたっと」の活用事例の紹介

	<p>【鳥取県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統計データ利活用センターとの連携による県職員や市町村職員への統計データの利活用支援等（詳細未定）。
	<p>【大阪市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内におけるデータ活用推進・データ分析を想定した場合の国データの活用方法に関する助言

3 データ利活用センターへの相談や連携した取組が始まっているもの

<p>【滋賀県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、滋賀大学データサイエンス学部と連携して、行政課題等についてEBPMモデル研究事業を実施しているが、同事業への参画・協力の可能性について（詳細未定） <p>【大阪府】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月に高齢者に対して、生活実態と介護保険サービス等に関する意識調査を実施。調査結果分析について相談（令和元年7月2日に利活用センターに訪問し、初回相談済） <p>【兵庫県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題分析に向け、指導、助言をお願いしたい。（兵庫県戦略的データ活用検討委員会（令和元年度）において次期「兵庫地域創生戦略」策定に向けた分析に当たり統計利活用センター長がオブザーバーとして参加し助言を受けている。） <p>【奈良県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県、市町村職員向け統計・データ活用事例発表会「奈良スタットイベント」（令和元年12月20日開催）の基調講演の講師選定に当たっての候補者に関する情報提供 <p>【大阪市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ活用を通じたEBPMの実現に向けた各種検討
--